

令和5年度
山形市社会福祉審議会
地域福祉専門分科会

日 時：令和6年3月8日（金）
10時00分～
場 所：山形市役所10階
委員会開催室

次 第

1 開 会

2 専門分科会長挨拶

3 議 事

(1) 協 議 事 項

重層的支援体制整備事業（我が事・丸ごと地域づくり推進事業等）の
事業評価について … 資料1

・我が事・丸ごと地域づくり推進事業 … 資料2

・地域福祉推進会議開催費補助金 … 資料3

4 閉 会

山形市社会福祉審議会地域福祉専門分科会委員名簿

任期: 令和4年4月1日～令和7年3月31日

【敬称略】

	氏 名	勤務先・所属団体
分科会長	都築 光一	東北福祉大学総合福祉学部 教授
分科会 副会長	高瀬 謙治	社会福祉法人山形市社会福祉協議会 常務理事
	柴田 邦昭	一般社団法人山形県社会福祉士会 業務執行理事
	高野 則夫	山形市民生委員児童委員連合会 会長
	田中 教仁	山形市自治推進委員長連絡協議会 金井地区自治推進委員長
	仲野 邦明	山形市地区社会福祉協議会会長連絡協議会 会長
	増川 州宏	山形市身体障害者福祉協会 会長

【事務局】

氏 名	所 属
松浦 雄大	山形市福祉推進部長
平吹 史成	山形市福祉推進部次長(兼)生活福祉課長
五十嵐 菊子	山形市福祉推進部生活福祉課長補佐
市村 紀子	山形市福祉推進部生活福祉課長補佐(兼)地域福祉係長
市川 孝之	山形市福祉推進部生活福祉課企画係長
佐藤 美穂	山形市福祉推進部生活福祉課企画係主幹
中村 樹知	山形市福祉推進部生活福祉課地域福祉係主査
久連山 太一	山形市福祉推進部生活福祉課企画係主査

重層的支援体制整備事業について

1 はじめに（地域共生社会とは）

少子高齢化の進展や人口減少、単身世帯の増加など社会構造の変化により住民が抱える生活課題は複雑化・多様化している。また、地縁、社縁といったつながりが弱まっている現状を踏まえ、人と人、人と社会がつながり支え合う取組が生まれやすいような環境を整える新たなアプローチが求められる中、国では、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が地域課題を「我が事」として捉え、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現を理念として掲げている。

山形市でも、山形市発展計画2025で「地域共生社会の実現」を重点政策の一つに掲げ、地域共生社会の実現に向け、地域福祉の充実を始め、様々な施策に取り組んでいる。

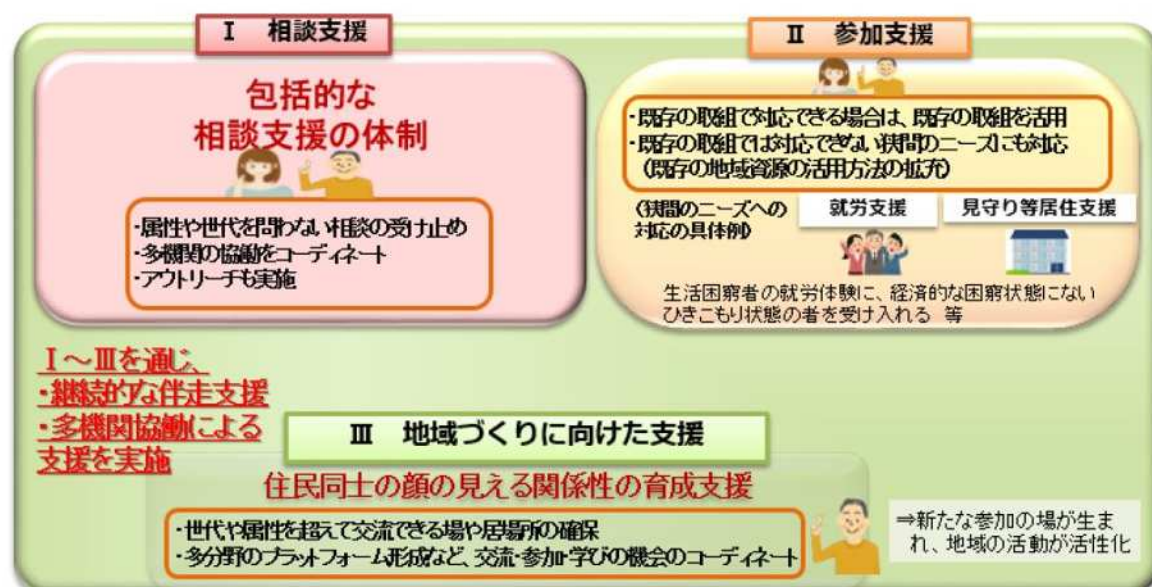


2 重層的支援体制整備事業創設の背景等

地域住民が抱える課題が複雑化・複合化しており、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では、複雑・複合的な課題や狭間のニーズへの対応が困難になっている現状を踏まえ、地域共生社会の実現に向け、モデル事業の実施（山形市では「我が事・丸ごと地域づくり推進モデル事業」として実施。）や検討会の開催等による検討を加えた結果、令和2年6月に社会福祉法が改正され、令和3年4月1日から重層的支援体制整備事業（以下「重層事業」という。）が創設された。

3 重層事業とは

重層事業は、地域共生社会の実現を目指すため、市町村全体の支援機関・地域の関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施する事業である。



- ※ I～IIIの3つの支援を一体的に取り組むことで、相互作用が生じ支援の効果が高まる。
- (ア) 狭間のニーズにも対応し、相談者が適切な支援につながりやすくなることで、相談支援が効果的に機能する。
 - (イ) 地域づくりが進み、地域で人と人とのつながりができることで、課題を抱える住民に対する気づきが生まれ、相談支援へ早期につながる。
 - (ウ) 災害時の円滑な対応にもつながる。

4 重層事業における各事業の概要

重層事業の実施に当たっては、次の基本的な理念に基づき、下表に記載の事業を一体的に展開する。

- ・アウトリーチを含む早期的な対応を行うこと
- ・本人・世帯を包括的に受け止めること
- ・本人を中心とし、本人の力を引き出す観点で行われること
- ・信頼関係を基盤として継続的に行われること
- ・地域住民のつながりや関係性づくりを行うこと

＜重層的支援体制整備事業で実施する事業＞

包括的相談支援事業 （社会福祉法第 106 条の 4 第 2 項第 1 号）	・属性や世代を問わず包括的に相談を受け止める。 ・支援機関のネットワークで対応する。 ・複雑化・複合化した課題については適切に多機関協働事業につなぐ。
参加支援事業 （社会福祉法第 106 条の 4 第 2 項第 2 号）	・社会とのつながりを作るための支援を行う。 ・利用者のニーズを踏まえた丁寧なマッチングやメニューをつくる。 ・本人への定着支援と受け入れ先の支援を行う。
地域づくり事業 （社会福祉法第 106 条の 4 第 2 項第 3 号）	・世代や属性を超えて交流できる場や居場所を整備する。 ・交流・参加・学びの機会を生み出すために個別の活動や人をコーディネートする。 ・地域のプラットフォームの形成や地域における活動の活性化を図る。
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 （社会福祉法第 106 条の 4 第 2 項第 4 号）	・支援が届いていない人に支援を届ける。 ・会議や関係機関とのネットワークの中から潜在的な相談者を見つける。 ・本人との信頼関係の構築に向けた支援に力点を置く。
多機関協働事業 （社会福祉法第 106 条の 4 第 2 項第 5 号）	・市町村全体で包括的な相談支援体制を構築する。 ・重層的支援体制整備事業の中核を担う役割を果たす。 ・支援関係機関の役割分担を図る。

5 山形市の重層事業

山形市では、重層事業として、次の事業を令和4年度からの実施している。

事業名	分野	個別事業名(国)	山形市事業名等	事業実施課
包括的相談支援事業	介護	地域包括支援センターの運営	地域包括支援センター運営事業	長寿支援課
	障がい	障害者相談支援事業	障がい者相談支援委託事業	障がい福祉課
	子ども	利用者支援事業(特定型)	子育て支援コーディネーターの配置	保育育成課
		利用者支援事業(母子保健型)	母子保健相談支援事業	こども家庭支援課 (母子保健課)
	困窮	生活困窮者自立相談支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	生活福祉課
地域づくり事業	介護	通いの場 (一般介護予防活動支援事業)	介護予防・日常生活支援事業のうち、地域介護予防活動支援事業(住民主体の通いの場)	長寿支援課
	介護	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	長寿支援課
	障がい	地域活動支援センター事業	地域生活支援事業のうち、地域活動支援センター機能強化事業	障がい福祉課
	子ども	地域子育て支援拠点事業	・市立保育所の運営管理に要する経費 ・子育て施設あ〜べ運営補助事業費 ・児童遊戯施設の運営管理に要する経費	こども未来課
			子育て支援ネットワーク事業	保育育成課
	困窮	生活困窮者のための地域づくり事業	我が事・丸ごと地域づくり推進事業	生活福祉課
			地域福祉推進会議開催費補助金	
多機関協働事業			福祉まるごと支援事業	生活福祉課
参加支援事業				
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業				
			ひきこもり生活者支援事業	

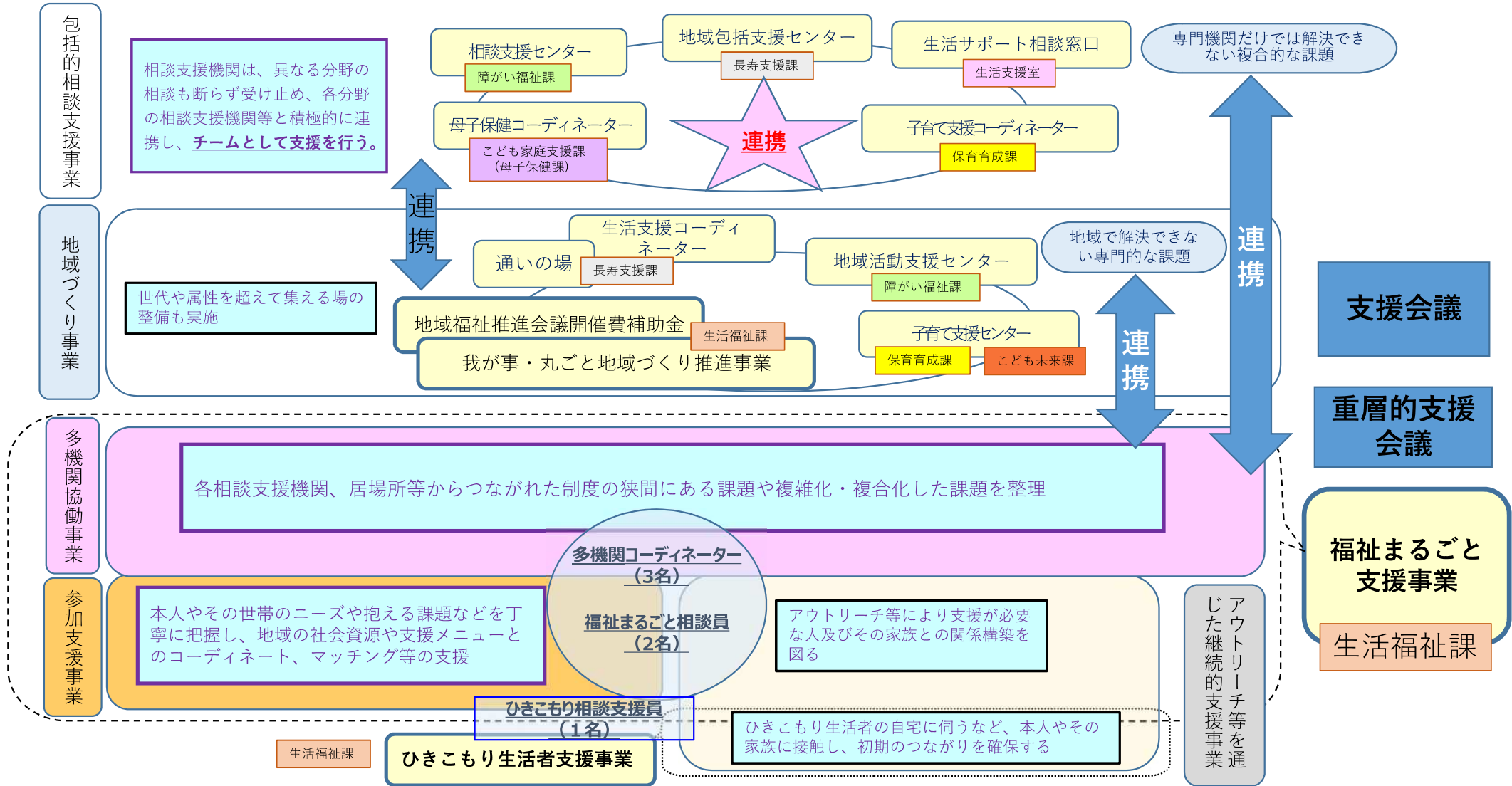
＜参考＞

○生活困窮者支援等のための地域づくり事業実施要領（抜粋）

4 事業評価

本事業の実施主体は、本事業の実施に当たって、地域福祉計画を踏まえつつ、支援が必要な者の人数や支援の実施回数などに関する成果目標を立てるとともに、本事業による国庫補助を受けた年度の概ね3月に、学識有識者や現場有識者等第三者が参画した検証の場を設置するなどにより、当該年度における本事業の実施状況について評価を行い、補助金の実績報告の際にその内容について厚生労働省に報告すること。

★山形市の重層的支援体制整備事業（R5）



我が事・丸ごと地域づくり推進事業

1 経過

山形市では、令和4年度から重層的支援体制整備事業を実施し、令和3年度までの我が事・丸ごと地域づくり推進事業のうち、「多機関の協働による包括支援体制構築事業」は「福祉まるごと支援事業」として新たに実施。「地域の様々な相談の受け止め・地域づくり」は、重層的支援体制整備事業の地域づくり事業（生活困窮者支援等のための地域づくり事業）に位置づけ、「我が事・丸ごと地域づくり推進事業」として実施。

2 事業開始

平成29年10月（山形市社会福祉協議会に業務委託）

3 事業内容

- (1) 「住民に身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備として、①地域づくりに向けた支援、②地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備、③地域住民等に対する研修の実施、④その他「住民に身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備にあたり必要な取組
- (2) 「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備として、①地域住民の相談を包括的に受け止める場の整備、②地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知、③地域の関係機関等との連携による地域生活課題の早期把握、④地域住民の相談を包括的に受け止める場のバックアップ体制の構築

4 地区への助成

- (1) 新規実施拠点
40万円
- (2) 前年度からの継続実施拠点
10万円

5 発展計画2025における目標と現在の活動拠点

(1) 発展計画2025（令和2年3月策定）における目標

「発展計画2025」 3 地域共生社会の実現（抜粋）

〈重点政策目標〉

目標名	現在値（策定時）	目標値（R6年度）
「我が事・丸ごと地域づくり推進事業」における実施拠点数（年間）	19 拠点	41 拠点

(2) 現在の活動拠点

21 地区23 拠点（令和5年度から第五地区は独自に活動を行う。（市事業としての活動を行っていない））

活動拠点及び活動状況は別途記載

6 今後の進め方

受託者である山形市社会福祉協議会とも連携し、全30地区での実施を目指し取り組んでいく。

将来的には、市内60拠点ほどの設置が必要と考えている。

■ 2 3 拠点及び取組状況（令和５年度１２月実施分まで）

	実施 地区	活動拠点	令和５年度の取り組み状況	事業 開催 数 (件)	相談 件数 (件)	(参考) 相談件数 内訳		
						地区 で解 決	専門 職等 への つな ぎ	地域 で対 応中
1	第六	南栄町会館	定期的に百歳体操やスポーツ吹矢、筆の学校(書道教室)、散歩(健康ウォーキング)を行う。活動日にあわせて、住民の困り事などの相談に応じる。また、月一回福祉まるごと出前相談を実施、専門職と連携して専門相談の対応を図るなど更なる事業の充実をすすめる。	102	31	23	6	3
2	第十	やよい集会所	定期的に百歳体操、認知症カフェ、サロン活動や三者懇談会、丸ごと相談会等を開催する。事業開催日や活動日と併せて住民の相談も受付ける。また、アウトリーチ(訪問活動)においても住民の困りごとの把握をすすめる。地区内病院・福祉施設・薬局・学校等の連携促進により活動の充実化や認知症ミニカフェ開催もすすめる。	266	329	215	124	0
3	鈴川	鈴川コミセン	関係機関・団体と連携を図り、百歳体操、男の茶話会等を実施する。また、ボランティア養成講座・研修会を実施し担い手養成をすすめる。活動日にあわせて住民の困り事などの把握をすすめるほか、専門職によるチーム鈴川を組織(地域お手軽相談)し、相談日を設け住民の相談を受付ける。	51	51	50	1	0
4	第二	双葉町公民館	公民館で毎週火曜日に百歳体操やサロン活動を実施するほか、水・金曜日に趣味の会、毎週月曜日に歩こう会を実施。また、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員が交代で住民の困り事などの把握をすすめる。	191	47	33	17	0
5	第三	北部公民館 神池会館	サロン活動のほか、介護予防・介護者技術講習会、大人の寺子屋等を実施。各町内会のサロンや民生委員児童委員、福祉協力員活動の中で住民の困りごとの把握をすすめ専門職との連携も図る。また、相談室の開設や認知症サロンの立上げをすすめる。	567	35	22	9	3

6	東沢	東沢コミセン	オープンカフェ、映写会及び友愛の会（障がい者対象）を実施していく。相談ポストの設置、見守り訪問活動等とおして住民の困りごとなどの把握をすすめていく。併せて、あおぞら応援隊による相談対応の強化も図っていく。	226	154	149	6	12
7	出羽	出羽コミセン、23区幸町公民館	百歳体操・サロン活動や歌おう会、お茶のみ会、高齢者買い物支援事業等を実施する。活動と併せて、各拠点ごとに相談箱を設置し住民の困り事などの把握をすすめるほか、各拠点を巡回して健康相談の実施をすすめる。	82	1	1	0	0
8	樫沢	樫沢コミセン 上樫沢、下樫沢、西原	各団体との連携を図りながら、百歳体操、ラジオ体操、サロン活動等を実施する。福祉活動サポーターの育成や災害時の対応に向けて団体間連携を深める。事業開催や活動の機会や見守り訪問活動とおして住民の困り事などの把握をすすめ、必要に応じて専門機関へつないでいく。	89	36	21	7	9
9	村木沢	村木沢コミセン 地区集会所	百歳体操、サロン活動等を定期的を実施。サロン実施している集会所をサブ拠点と位置付け、開催にあわせて相談に応じる体制をとり対応する。相談員については民生委員児童委員、地区社協役員を中心に構成し、毎月、専門職をメンバーに入れた相談会を開催し、住民の困り事などの把握及び対応をすすめていく。	107	11	3	6	2
10	南沼原	南館ふれあい会館	百歳体操、サロン活動や認知症カフェ等を定期的に開催する。活動日に併せて、住民の困り事などの把握にも努めた。ふれあい館の管理人が住民や利用団体とのコミュニケーションを図りながら、困りごとなどは各種相談機関に迅速につなぐようにする。世代間や介護者等の対象を拡大した取り組みに向けて事業を開催していく。	167	100	34	40	26
11	第八	東部公民館 小白川三区 集会所他	各自治会でいきいきサロン、友愛訪問、子育てサロン、百歳体操等を実施。百歳体操、子育てサロンとあわせて相談を受付ける。交通安全や健康に関する講座の開催も企画したい。自治会や各関係機関との連絡会を構成し、定期的に情報交換しながら活動を実施する。	122	77	69	12	0

12	第一	Q 1	各町内でサロン活動を実施するほか、毎週金曜日に百歳体操と月一回の子育てサロンを実施。また、偶数月にはおれんじカフェを開催。今年度は暫時、中央公民館を拠点として活動を展開していくが、9 月から Q 1 プロジェクトに拠点移行する事で相談室を活用した相談支援の充実等を図る。	57	3	2	0	1
13	第四	小橋町公民館	いきいきサロン(12ヶ所)、子育てサロン開催。三者懇談会を 24 町内会で開催。各町内会やサロンを中心として、身近な地域で見守り、居場所・拠点作り、また、相談できる仕組みづくりをすすめる。住民に対しての活動広報の強化もすすめる。さらに各町内会でのボランティア育成をとおり支え合い隊の立上げを目指す。	213	46	28	5	12
14	第七	肴町一区公民館 城北公民館 肴町二区公民館	各拠点で定期的に百歳体操、いきいきサロン等を実施するほか、健康講座、交通安全講話、消費生活関連講座の開催をすすめる。その活動時にあわせて住民の困り事などの相談を受付ける。また、民生委員児童委員や福祉協力員の見守り活動を相談体制としても位置づけて住民の声相談を受付ける。	245	22	13	6	3
15	金井	金井コミセン 集会所 (11)	百歳体操、サロン活動等を定期的に実施。地区社協主催のカフェも開催をすすめる。活動を通して、地区内住民がより多く参加する機会を設けるとともに、気軽に相談できる体制づくりをすすめる。従来の活動に加え健康講座や担い手養成につながる事業開催をすすめる。	150	120	103	26	0
16	明治	明治コミセン 集会所 (6)	定期的に開催しているはあとの会、サロンの開催時や M-1 (百歳体操) の休憩時間等を活用しながら相談に応じる体制をとる。参加者の増など事業の活性化を目指していく。	80	4	4	0	0
17	飯塚	飯塚コミセン 集会所 (5)	百歳体操、ラジオ体操、各種サロンなどを定期的に実施する。民生委員児童委員お福祉協力員の訪問による相談体制に加え各事業の開催後に生活の相談を受付ける。相談内容は必要に応じて市社協及び包括支援センターへ繋ぐようにする。	60	45	37	7	1

18	蔵王	成沢公民館 高田自治会館 成六集会所	各種サロン、みんなの食堂などを定期的に実施する。また、各町内会ごとに相談窓口を設けて、困りごとなどの把握と解決を図る。各町内会、各種団体の横のつながりを強化や地区全体への事業の周知をすすめサロンを実施していない町内会での立上げをすすめる。	49	0	0	0	0
19	滝山	鳥居ヶ丘 南二番町 南ヶ丘 青田1、2	各拠点でいきいきサロン、百歳体操、老人クラブ、趣味の会、介護予防の集い等を開催する。また、三者連携による見守り活動をとおり、住民の声を集める。相談活動の定着化や今後の拠点拡大に向けての検討をすすめていく。	180	50	22	23	5
20	南山形	南山形コミセン 集会所 (11)	百歳体操、いきいきサロン、子育てサロンを定期開催するほか、どんなときでもいきいき生活講座や福祉力向上のための福祉道場を開催する。こんにちは赤ちゃん訪問や高齢者世帯訪問による状況確認をすすめ、月1回、相談の集約や解決のに向けた検討会(つむぐ会)を開催していく。	217	160	137	34	0
21	第十 (2拠点目)	第十地区福祉会館 山形市総合福祉センター 霞城公民館	新しい生活様式を取り入れながら、定期的に百歳体操、サロン活動や三者懇談会を実施する。事業開催や見守り訪問活動をとおり住民の生活課題の把握をすすめ、課題の検討や対応を図る。また、地区内の学校との連携強化や地域ボランティア育成をすすめる。	108	44	26	18	0
22	鈴川 (2拠点目)	印役連合集会所 印役連合花楸集会所	高齢者の集いや世代間交流、三者懇談会、百歳体操、カラオケなどを定期的に実施する。住民の困りごとを早期に発見、早期対応できる環境整備をすすめていく。また、担い手育成に向けた取り組みを実施していく。	80	32	20	2	13
23	大郷	船町集会所 天神町集会所 いきいきの郷	事業の周知と理解促進を図り、各活動団体がつながりながらよりよい地域づくりを進めて行く。	81	25	6	3	16

■ 令和5年度より独自事業に移行 令和4年度までの活動内容

1	第五	福祉文化センター 南部公民館	百歳体操やいきいきサロンの定期的な開催を通して、その普及と拡大を図るとともに気軽に相談が出来る拠点となることを目指し活動をすすめる。また、専門職とも連携しながら「困りごと相談会」を実施する。地域情報を提供する「地区だより」の発行により広報強化を図る。	-	-	-	-	-
---	----	-------------------	---	---	---	---	---	---

■地区ごとの事業実施数及び相談件数の内訳

1 実施期間 令和5年4月～令和5年12月

2 実施地区 第一・第二・第三・第四・第六・第七・第八・第十・鈴川・出羽・金井・明治・飯塚・樫沢・東原・南沼原・蔵王・村木沢・滝山・南山形・大郷の21地区

事業	第一		第二		第三		第四	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	0	0	39	664	78	1,042	42	495
百歳体操等	38	815	0	0	174	2,379	76	867
子育てサロン	3	42	8	36	8	134	0	0
その他事業	2	16	144	1,199	246	3,099	81	907
打ち合せ、会議	14	159	0	0	61	927	14	87
合計	57	1,032	191	1,899	567	7,581	213	2,356
相談件数	3		47		35		46	

事業	第六		第七		第八		第十	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	1	20	22	372	4	71	8	201
百歳体操等	36	618	86	1,095	1	15	37	345
子育てサロン	0	0	0	0	17	381	5	37
その他事業	64	589	87	1,317	70	1,095	154	1,845
打ち合せ、会議	1	15	50	708	30	238	62	1,172
合計	102	1,242	245	3,492	122	1,800	266	3,600
相談件数	31		22		77		329	

事業	鈴川		出羽		金井		明治	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	0	0	0	0	9	166	0	0
百歳体操等	36	754	33	405	22	430	18	179
子育てサロン	0	0	0	0	8	113	0	0
その他事業	3	126	41	368	88	2,244	62	656
打ち合せ、会議	12	305	8	97	23	328	0	0
合計	51	1,185	82	870	150	3,281	80	835
相談件数	51		1		120		4	

事業	飯塚		樫沢		東沢		南沼原	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	48	828	0	0	65	1,102	5	175
百歳体操等	0	0	43	560	12	175	34	381
子育てサロン	9	212	8	69	16	186	0	0
その他事業	3	105	30	329	116	371	108	801
打ち合せ、会議	0	0	8	123	17	72	20	139
合計	60	1,145	89	1,081	226	1,906	167	1,496
相談件数	45		36		166		100	

事業	蔵王		村木沢		滝山		南山形	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	21	185	51	526	33	532	65	1,153
百歳体操等	0	0	38	524	13	208	34	1,886
子育てサロン	0	0	2	14	0	0	23	345
その他事業	25	1,253	8	76	97	1,794	27	462
打ち合せ、会議	3	115	8	99	37	489	68	617
合計	49	1,553	107	1,239	180	3,023	217	4,463
相談件数	0		11		50		160	

事業	第十②		鈴川②		大郷	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	4	108	8	69	30	207
百歳体操等	39	591	21	206	37	449
子育てサロン	9	123	0	0	0	0
その他事業	51	308	20	366	14	96
打ち合せ、会議	5	76	31	399	0	0
合計	108	1,206	80	1,040	81	752
相談件数	44		32		25	

事業	合計	
	回数	参加人数
いきいきサロン	533	7,916
百歳体操等	828	12,882
子育てサロン	116	1,727
その他事業	1,541	19,422
打ち合せ、会議	472	6,165
合計	3,490	48,112
相談件数	1,435	

■相談事例、活動報告の一例

○ 地域で解決した例

- ・単身高齢者世帯が施設入所のため、地域で郵便物とチラシ等の処理支援
- ・高齢者世帯のごみ出し支援
- ・高齢者世帯の除雪ボランティア

○ 専門相談機関等につないだ例

- ・50代の息子のひきこもりについて相談があり、ひきこもり相談支援員につなぐ。
- ・デイサービス利用について相談があり、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターにつなぐ。
- ・高齢単身者、病院で余命宣告を告げられ、食事も摂っていないことが見守り活動で判明。地域包括支援センターへつなぐ。
- ・高齢者世帯と連絡が取れず、福祉協力員と福祉部長が家庭訪問をしたが連絡が取れない。地域包括支援センターと家族へ連絡した。
- ・体調不良で救急搬送となった方について、今後について地域包括支援センターへ相談した。
- ・生活困窮者施設に入居した高齢者が、入居初日に施設の場所がわからなくなり、町内会の住民と警察から保護され、無事に施設に帰る。その後、施設の室内で死亡していることが判明。警察につなぐ。
- ・家庭内の高齢者虐待と疑われる事例について、相談を受け、町内会としての対応を検討した。

○ 傾聴・見守りの継続等

- ・高齢者の安否確認
- ・買い物支援等
- ・空き家問題
- ・高齢者の徘徊
- ・仕事を辞めること、新しい就労先について
- ・生活困窮者の把握

○ 今後の課題等

- ・今年度から第五地区が補助金申請等の手続きが煩雑との理由で補助金申請を行わなかった。以前より地区の活動は行っているため補助金を利用せずとも活動可能としている。コロナの影響等で新規の活動地区が想定より増えていないこともあり、地区の役員の担い手育成や申請等に係るサポート体制の構築等が課題となっている。
- ・事業を行っていても徐々に形骸化している部分もあり、本来の事業目的の再確認が必要。

■活動風景一例



地区社協、町内会役員、民生委員児童委員代表、福祉協力員代表、地域包括支援センター、市社協第二層生活支援コーディネーターで構成。月1回開催。地域課題を共有するとともに課題解決に向けて話し合う場となっています。

地域福祉推進会議開催費補助金

1 地域福祉推進会議とは

各地区の地区社会福祉協議会役員、町内会役員、民生委員・児童委員、福祉協力員、福祉関係者などが参加し、各地域における福祉の現状や生活課題を共有し、その解決に向け、住民みずからが地域福祉活動に取り組んで行くことを目的として開催するもの。

2 令和5年度の地域福祉推進会議開催状況（1月末現在）

地区	開催日	内容	参加者
第一	10月30日	・講演「地域防災力を高める！」 ～地域のつながりをつよくするために～ 講師 山形市総務部防災対策課防災係長 奥山浩行氏 ・協議 ①地域のつながりを強くするために 「三者懇談会について」 山形市社会福祉協議会第一層生活支援コーディネーター 山蔭瞬氏 ②地域の情報交換をしてみよう	地区社協役員、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員、福祉事業所 薬局 74名参加
第二	11月17日	・講演「災害に備える part 2」 ～第二地区で起こり得る災害と対策～ 講師 ウェザーハート災害福祉事務所 千川原公彦氏 ・協議 ①町内の防災の現状 ②今後取り組んでみたいこと	地区社協役員、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員、福祉事業所、薬局 約100名
第三	3月9日 開催予定		
第四	10月3日	・『学びましょう！（Ⅱ）家族に残したこと ACP＝愛称「人生会議」とは』 講師：在宅医療・介護連携室ポピー ・『もしも…の時のために「わたし」が今からできること』 講師：地域包括支援センターかがやき	地区社協役員、町内会会長、民生委員児童委員、福祉協力員、地域住民等 約70名
第五	11月11日	・各町内会のつながりづくりのきっかけづくりについて 「ほいずだゲーム」「ボッチャ」「モルック」 各種体験会、ボランティアの活用について ・各団体からの報告等	地区社協役員、町内会会長、民生委員児童委員、福祉協力員、地区社協団体 約90名

地区	開催日	内容	参加者
第六	2月22日 開催予定	「災害時における高齢者等の支援について」（仮） ・山形市防災対策課からの講話 ・グループ討議	町内会会長、民生委員 児童委員、町内の防災 部長や福祉部長、福祉 協力員、地区社協役員 等 約90名予定
第七	3月15日 開催予定		
第八	11月25日	・「特殊詐欺にあわないために～被害予防と対策～」 ・各自治会で取り組めることについて情報交換	自治会役員、保護司、 地区社協、民生委員児 童委員、福祉協力員代 表 約100名
第九	2月4日	・第1部 「防災研修」 ①災害時の犯罪について：山形県警 ②災害時避難行動について：山形市防災対策課 ・第2部 「地域福祉推進会議」 ①第九地区の現状について ②三者懇談会の意義と進め方について ③三者懇談会の事例について →講師：地域包括支援センターかがやき・生活支援コーディネーター	地区社協役員、町内 会・自治会役員、防災 会関係者、民生委員児 童委員、福祉協議会等 約60名
第十	8月9日	「令和5年度の山形市政について」 山形市長 佐藤孝弘様 ・講演後、情報交換や地区の現状の報告等	町内会役員、民生委員 児童委員、福祉協力員、 地区社協役員、一般住 民等 約70名
	2月5日	「第十地区の今までとこれから」 (福祉施策の動向と第十地区福祉活動の現在地) ・第1層 SC、第2層 SC、地域包括支援センターからの説明や報告をきっかけに考えたり話し合ったりした。	町内会役員、民生委員 児童委員、福祉協力員、 地区社協役員、 約100名
鈴川	2月22日 開催予定	「心とつながる未来へ 認知症情動療法で築く共生社会」 ・山形厚生病院理事長より講話 「誰もが安心して暮らせる鈴川地区をめざして」 ・地域包括支援センター敬寿会、市社協生活支援コーディネーターより講話	地区社協理事、民生委 員児童委員、福祉協力 員、ボランティア団体、一般 等 80名予定
千歳	7月9日	・令和5年度千歳地区共生社会づくり事業について ・千歳地区共生社会づくり事業の事例報告（ひがし食堂ふれあい） ・区長、民生委員児童委員、福祉協力員による三者懇談会	区長、民生委員児童委 員、福祉協力員、地区 社協役員 約90名
出羽	8月3日	テーマ 糖尿病重症化予防からの「健康づくり」と「フレイル対策」 ・講師 山形大学 大学院医学研究科医学専攻 内科学第三講座 糖尿病・内分泌代謝学分野 准教授 医学博士 諏佐 真治 先生	区長、民生委員児童委 員、福祉協力員、地区 社協役員 約40名

地区	開催日	内容	参加者
金井	9月5日	講演「地域防災活動について」 ～水害時の助け合い～ 講師：ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原公彦氏 講演後、町内会ごとに意見交換	地区社協役員、町内会長・町内会福祉部長、 民生児童委員、福祉協力員等 約 70 名
楯山	12月15日	第一部 講演 ・講演「どうなる！楯山地区の公共交通タクシーとバス」 ・講師：山形市企画調整部公共交通課 山交バス（株）乗合課 第二部 落語 ・演目「つる」「カラオケ病院」 ・話し手：笑風亭間助 氏	町内会役員、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員、青少年育成関係、地区内関係者等 約 70 名
明治	7月22日	・講話「地域福祉推進会議と三者懇談会の意義」 生活支援コーディネーターより ・認知症パートナー養成講座 なでしこ地域包括支援センターより	町内会役員、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員 約 50 名
高瀬	11月19日	・講演「成年後見制度について」 ・講師：山形市社会福祉協議会相談支援課 権利ようご係 児玉和行氏 ・説明「高瀬地区買い物支援事業」 ・報告者：第二層生活支援コーディネーター	町内会役員、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員 約 50 名
大郷	2月16日	・講演：「～日頃の絆が災害から地域を守るXI～」 地域での「災害発生時の行動」について 講師：ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原公彦氏	町内会役員、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員、福祉施設関係者 約 40 名
大曾根	11月30日	・演題「慢性的な経過をとる成人の代表的な呼吸器の病気」 講師：至誠堂総合病院 名誉院長 金沢医科大学 名誉教授 高橋敬治氏	町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員 42 名
山寺	7月19日	・山寺地区の高齢者の現状 講師：地域包括支援センター大森 ・山寺地区内の支えあい活動 講師：山形市社協 ・各町内に分かれての福祉マップ作成	町内会役員、民生委員児童委員、福祉協力員、女性代表、地区社協役員 約 50 名
飯塚	11月26日	「認知症をより深く理解し、誰もが安心して暮らせる飯塚」 講師：山形市社協霞城西部地域包括支援センター・生活支援コーディネーターグループ ごとに認知症についての情報交換	区長、副区長、民生委員児童委員、福祉協力員、地区社協役員 約 65 名
榎沢	11月8日	「高齢者として充実した人生を送るために」 健康講話：小関文助先生・小関靖子さん 講話後、講師より演芸の特技を披露して頂き、生活支援コーディネーターより「いくつになっても特技を見つけて生きがいづくり」をテーマに参加者同士で情報交換を行った。	自治会長、地区社協役員・常任理事等、民生委員児童委員、福祉協力員、一般住民等 約 50 名

地区	開催日	内容	参加者
滝山	9月14日	「安心して暮らせる福祉の町たきやまをつくる！！」 講話：効果的な運動を行ってフレイルを予防しよう～地域で自分らしい生活続けるために～ 講師：在宅リハビリ看護ステーションつばさ 理学療法士 竹田広 氏 情報交換：地域でフレイル予防を進めるには	地区社協役員、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員 約 70 名
東沢	12月9日	・認知症サポーター養成講座 ・認知症があっても暮らし続けられるまちづくりについて 情報交換	地区社協役員、自治推進委員（全 12 町内）、民生委員児童委員、福祉協力員、関係機関等 約 65 名
南山形	11月19日	子どもの食について パネラー：山形市社会福祉協議会 子どもの居場所づくり支援センター 高橋みちよ ・地区住民を交えてのパネディスカッション	地区社協役員、振興協議会、福祉協力員、民生委員児童委員、地区住民、包括支援センター 約 40 名
南沼原	8月31日	「町内会活動について共有しよう」 ・南沼原地区、相談の現状について 南沼原地域包括支援センター ・地区の現状と今後の課題 講師：市民社会サポートやまがた 代表理事 石山由美子氏 理事 阿部真理子氏 グループワーク（町内会毎）	地区社協役員、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員世話人 約 90 名
蔵王	10月12日	「人生会議と在宅療養」 ～いつまでも住み慣れた場所で自分らしい生活を送るために～ 講師：一般社団法人山形医師会 在宅医療・介護連携室ホピバー	町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員、施設事業所 約 80 名
村木沢	1月16日	サロン代表者懇談会 テーマ「サロン活動で考えた事」	地区社協役員、民生委員児童委員、各サロン代表者 14 名
本沢	6月18日	・社会福祉協議会の進める地域福祉活動と三者連携について ・令和 5 年度「介護保険と高齢者保健福祉のしおり」について ・福祉マップ 作り	自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員 約 40 名
西山形	11月15日	はつらつ元気教室（1 回目） ・一部「聞いてみたいな みんなが気になる おしっこの話」 講師：山形大学腎泌尿器外科学講座 助教授 八木真由 氏 ・二部 排泄サポートアイテムの紹介 講師：指定福祉用具貸与事業所	地区社協役員、自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員、地域住民 64 名